

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

- 注記
- 1: 意見及び異議受付期間は、令和7年9月1日～令和7年9月30日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格 番号等	JIS規格原案等の 名称	JIS規格原案等の 英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に 伴う廃止JIS	対応する国際規格番号 及び名称	原案作成者	
1	JIS	制定		家庭用サーバー形浄水器	Household server type water purifiers	この規格は、水道水をろ水とする定格電圧が250 V以下のサーバー形 浄水器について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・種類 ・使用環境 ・品質 ・構造 ・試験方法 ・維持管理 ・検査方法 ・こん(梱)包 ・表示			一般社団法人浄 水器協会	一般財団法人日 本規格協会
2	JIS	制定		靴－完成靴の試験方法－ ヒール取付強さ	Footwear – Test methods for whole shoe – Heel attachment	この規格は、靴のヒール取付強さを測定する方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・原理 ・装置及び器具類 ・試料の準備及び調整 ・試験方法 ・試験結果の表し方 ・試験報告書		ISO 22650:2018, Footwear – Test methods for whole shoe – Heel attachment(MOD)	一般社団法人日 本皮革産業連合 会	一般財団法人日 本規格協会
3	JIS	制定		靴－ヒールの試験方法－第1 部：耐疲労性	Footwear – Test methods for heels – Fatigue resistance	この規格は、通常の歩行において、靴のヒールが反復して受ける小さな 衝撃に対するヒールの耐疲労性試験方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・原理 ・装置及び器具類 ・試料の準備及び調整 ・試験方法 ・試験結果の表し方 ・試験報告書		ISO 19956:2004, Footwear – Test methods for heels – Fatigue resistance(MOD)	一般社団法人日 本皮革産業連合 会	一般財団法人日 本規格協会
4	JIS	制定		靴－ヒールの試験方法－第2 部：耐衝撃性	Footwear – Test methods for heels – Resistance to lateral impact	この規格は、通常の歩行において、靴のヒールが受ける後方からの衝 撃に対するヒールの耐衝撃性試験方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・原理 ・装置及び器具類 ・試料の準備及び調整 ・試験方法 ・試験結果の表し方 ・試験報告書		ISO 19953:2004, Footwear – Test methods for heels – Resistance to lateral impact(MOD)	一般社団法人日 本皮革産業連合 会	一般財団法人日 本規格協会
5	JIS	制定		車載電池リバーバス要件	Repurposing of secondary batteries – Part 1: General requirements	この規格は、元々は電気自動車などに適用するために製造された二次 電池、モジュール、バッテリーパック、及びバッテリーシステムの二次 利用(リバーバス)に関する一般要求事項を提供する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・一般要求事項 ・使用済み製品の診断・アセスメント ・再利用目的物の適用の要求事項 ・附属書B(規定)システム設計変更に伴う製品の再現		IEC 63330-1:2024, REPURPOSING OF SECONDARY BATTERIES – Part 1: General requirements(IDT)	一般財団法人日 本自動車研究所	一般財団法人日 本規格協会
6	JIS	制定		耐摩耗鋳鉄品	Abrasion-resistant cast irons	この規格は耐摩耗鋳鉄品について化学成分及び硬さによって規定す る。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・区分及び種類の記号 ・要求事項 ・試験単位及び試験回数 ・試料 ・熱処理 ・試験方法 ・再試験、規格に適合しない際の熱処理 ・検査、表示、報告		ISO 21988:2006, Abrasion- resistant cast irons(MOD)	一般社団法人日 本鑄造協会	一般財団法人日 本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和7年9月1日～令和7年9月30日
2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
3: 区分bは、制定、改正の別を記載
4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格 番号等	JIS規格原案等の 名称	JIS規格原案等の 英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に 伴う廃止JIS	対応する国際規格番号 及び名称	原案作成者
7	JIS	制定		すき間噴流による銅及び銅合金の無粒子エロージョン・コロージョン標準試験方法	Standard test method for particle-free erosion corrosion of copper and copper alloys by jet-in-slit	この規格は、単相流体中の流れが誘起する腐食である無粒子エロージョン・コロージョンに対する銅及び銅合金の耐性を、すき間噴流を用いて評価する試験方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・試験装置 ・試験溶液 ・試験面の準備 ・試験手順 ・試験報告書		ISO 24020:2022, Corrosion of metals and alloys – Standard test method for particle-free erosion corrosion of metallic materials by jet-in-slit(MOD)	ステンレス協会 一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	A6207	コンクリート用シリカフューム	Silica fume for use in concrete	この規格は、コンクリート及びモルタルに混和材料として用いるシリカフュームについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・遊離けい素の試験方法として、現行規格で規定するJIS R 1616(ファインセラムックス用炭化けい素微粉末の化学分析方法)に加えて、粉末X線回折による分析方法を附属書に追加する。 ・活性度指数の試験方法(附属書C)で作製するモルタルのフローの範囲を緩和(260mm±10mmから260mm±20mm)にする。また、空気量について、基準モルタルと試験モルタルとの差に関する規定(両者の差の範囲が±1.0%)を追加する。 ・ISO22904との対応関係を整理し、JISと対応国際規格との対比表を追加する。		ISO 22904:2020 Additions for concrete(MOD)	日本シリカフューム技術研究会 一般財団法人日本規格協会
9	JIS	改正	C9335-2-84	家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第2－84部：トイレ機器の個別要求事項	Household and similar electrical appliances – Safety – Part 2-84: Particular requirements for toilet appliances	この規格は、定格電圧が250 V以下の、人体の部分的な洗浄若しくは乾燥を行うことによって又は排せつ物を衛生的に処理することによって、トイレの使用者に快適感又は清潔感を与えることを目的としたトイレ機器の安全性について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・構造において、接地線付きのクラスⅡ機器の場合、取扱説明書に接地接続の指示があるものは、専門業者が設置することを意図するものと同等とみなす旨の規定を追加する。 ・通常動作で行う入力及び電流の測定において、洗浄水瞬間方式の場合、製品仕様で最も厳しい条件が異なるため、消費電力が最大となる条件で行う規定を追加する。 ・安定性及び機械的危険において、充電部及び危険な運動部への接触の確認に、従来の検査ブロープBに加えて、幼児などの安全確保のため、検査ブロープ18(子供対象)及び検査ブロープ19(幼児対象)を用いる規定を追加する。 ・併読する通則をJIS C 9335-1:2023に変更するとともに、この通則で規定された安全性に関わる規定を追加する。		IEC 60335-2-84:2019 Household and similar electrical appliances – Safety – Part 2-84: Particular requirements for toilet appliances(MOD)	一般社団法人日本レストルーム工業会 一般財団法人日本規格協会
10	JIS	改正	G4308	ステンレス鋼線材	Stainless steel wire rods	この規格は、ステンレス鋼線材について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・市場ニーズに合わせ、種類の記号について、オーステナイト系1種類(SUS304J3L)及びオーステナイト・フェライト系5種類(SUS821L1, SUS323L, SUS329J1, SUS329J3L, SUS327L1)を追加するとともに、オーステナイト系1種類(SUS303Se)を削除する。 ・対応国際規格の改正に伴い、規格の名称及び年版の見直しを行う。		ISO 16143-2:2014, Stainless steels for general purpose – Part 2: Corrosion-resistant semi-finished products, bars, rods and sections(MOD)	ステンレス協会 一般財団法人日本規格協会
11	JIS	改正	G4311	耐熱鋼棒及び線材(追加1)	Heat-resitant steel bars and wire rods (Amendment 1)	この規格は、耐熱鋼棒及び耐熱鋼線材について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・市場ニーズがあるオーステナイト系耐熱鋼の種類の記号を1種類(SUH314)追加する。 ・追加する種類について、化学成分、機械的性質、質量を規定し、熱処理条件(参考)を追加する。		ISO 4955:2016, Heat-resistant steels ISO 683-15:1992, Heat-treatable steels, alloy steels and free-cutting steels – Part 15: Valve steels for internal combustion engines(MOD)	ステンレス協会 一般財団法人日本規格協会
12	JIS	改正	L1076	織物及び編物のピリング試験方法	Testing methods for pilling of woven fabrics and knitted fabrics	この規格は、織物及び編物のピリング試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・ICI形試験機のコム管の寸法の公差を市場の実態に合わせて改正する。 ・TO形試験機の円筒内径等の寸法の公差を市場の実態に合わせて改正する。 ・アビアランス・リテンション形試験機の試料底面積・押圧荷重等の使用条件を市場の実態に合わせて改正する。 ・ランダム・タンブル形試験機の円筒内径等の寸法公差を市場の実態に合わせて改正する。 ・対応国際規格の改訂にあわせて、I法及びJ法の見直しをISO 12945-4の規定によることとする。		ISO 12945-1:2020, Textiles – Determination of fabric propensity to surface fuzzing and to pilling – Part 1: Pilling box method ISO 12945-2:2020, Textiles – Determination of fabric propensity to surface fuzzing and to pilling – Part 2: Modified Martindale method (MOD)	一般社団法人繊維評価技術協議会 一般財団法人日本規格協会
13	JIS	改正	L1910	酸素系漂白剤処理に対する繊維製品の強度低下率試験方法	Test methods for percentage of strength lowering of textiles to oxygen-bleaching	この規格は、酸素系漂白剤処理を行った繊維製品の強度低下率試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・箇条6(装置)、箇条7(試薬)及び箇条8(試験方法)8.1(漂白処理)はJIS L 0889の規定内容を記載していたが、JIS L 0889該当箇所を引用する。 ・附属書A(過炭酸ナトリウムの有効酸素量の測定方法)はJIS L 0889を引用することで削除する。			一般社団法人繊維評価技術協議会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
1: 意見及び異議受付期間は、令和7年9月1日～令和7年9月30日
2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
3: 区分bは、制定、改正の別を記載
4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格 番号等	JIS規格原案等の 名称	JIS規格原案等の 英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に 伴う廃止JIS	対応する国際規格番号 及び名称	原案作成者
14	JIS	改正	R1702	ファインセラミックス-光触媒材料の抗菌性試験方法及び抗菌効果	Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)- Test method for antibacterial activity of photocatalytic materials and efficacy	この規格は、紫外光照射の有無における細菌の生存数を測定することによる、光触媒材料の抗菌性試験方法及びその結果による抗菌効果の判定について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法の変更に伴い、用語及び定義、並びに記号及び単位の箇条における記載を改める。 ・試験方法におけるガラス密着法の試験菌培養について、試験実態を踏まえ、培養時間などをフィルム密着法に合わせて改める。 ・試験結果の計算において、試験実態を踏まえ、ガラス密着法の試験結果の計算方法を感染価の算術平均から常用対数値の平均を用いる方法に変更する。		ISO 27447:2019, Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)-Test method for antibacterial activity of semiconducting photocatalytic materials(MOD)	光触媒工業会 一般財団法人日本規格協会
15	JIS	改正	R1706	ファインセラミックス-光触媒材料の抗ウイルス性試験方法－バクテリオファージQβを用いる方法	Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)- Determination of antiviral activity of photocatalytic materials -Test method using bacteriophage Q-beta	この規格は、紫外光照射の有無におけるバクテリオファージQβの感染価を測定することによる、光触媒抗ウイルス加工材料の抗ウイルス性試験方法及び活性値の算出方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法の変更に伴い、記号及び単位の箇条における記載を改める。 ・試験結果の計算において、試験実態を踏まえ、抗ウイルス活性値の計算方法を感染価の算術平均から常用対数値の平均を用いる方法に変更する。		ISO 18061:2014, Fine Ceramics (Advanced Ceramics, Advanced Technical Ceramics)-Determination of antiviral activity of semiconducting photocatalytic materials-Test method using bacteriophage Q-beta(MOD)	光触媒工業会 一般財団法人日本規格協会
16	JIS	改正	R1752	ファインセラミックス-可視光応答形光触媒材料の抗菌性試験方法及び抗菌効果	Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)- Test method for antibacterial activity of photocatalytic materials and efficacy under indoor lighting environment	この規格は、可視光照射の有無における細菌の生存数を測定することによる、可視光応答形光触媒材料の抗菌性試験方法及びその結果による抗菌効果の判定について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法の変更に伴い、用語及び定義、並びに記号及び単位の箇条における記載を改める。 ・試験方法におけるガラス密着法の試験菌培養について、試験実態を踏まえ、培養時間などをフィルム密着法に合わせて改める。 ・試験結果の計算において、試験実態を踏まえ、ガラス密着法の試験結果の計算方法を感染価の算術平均から常用対数値の平均を用いる方法に変更する。		ISO 17094:2014, Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)-Test method for antibacterial activity of semiconducting photocatalytic materials under indoor lighting environment(MOD)	光触媒工業会 一般財団法人日本規格協会
17	JIS	改正	R1756	ファインセラミックス-可視光応答形光触媒材料の抗ウイルス性試験方法－バクテリオファージQβを用いる方法	Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)- Determination of antiviral activity of photocatalytic materials under indoor lighting environment-Test method using bacteriophage Q-beta	この規格は、可視光照射の有無におけるバクテリオファージQβの感染価を測定することによる、可視光応答形光触媒抗ウイルス加工材料の抗ウイルス性試験方法及び活性値の求め方について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験方法の変更に伴い、記号及び単位の箇条における記載を改める。 ・試験結果の計算において、試験実態を踏まえ、抗ウイルス活性値の計算方法を感染価の算術平均から常用対数値の平均を用いる方法に変更する。		ISO 18071:2016, Fine ceramics (advanced ceramics, advanced technical ceramics)-Determination of antiviral activity of semiconducting photocatalytic materials under indoor lighting environment-Test method using bacteriophage Q-beta(MOD)	光触媒工業会 一般財団法人日本規格協会
18	JIS	改正	S3242	家庭用逆浸透膜浄水器（追加1）	Household reverse osmosis water purifiers (Amendment1)	この規格は、水道水を含む飲用水中の溶存物質などを減少させる機能をもつ水処理器具のうち、主要ろ材として逆浸透膜を用いて、主に家庭用で使用する浄水器について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・サーバー形浄水器は、この規格の適用対象ではないことを明確にするため、適用範囲に“ただし、サーバー形浄水器は除く。”を追加する。			一般社団法人浄水器協会 一般財団法人日本規格協会
19	JIS	改正	Z1506	外装用段ボール箱	Corrugate shipping containers	この規格は、外装に用いる段ボール箱について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 種類について、分類項目の見直しを行い、実態に合わせた種類を設定する。			全国段ボール工業組合連合会 一般財団法人日本規格協会
20	JIS	改正	Z1516	外装用段ボール	Corrugate fibreboards for shipping containers	この規格は、外装用段ボール箱の製造に用いる外装用段ボールについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 種類について、分類項目の見直しを行い、実態に合わせた種類を設定する。			全国段ボール工業組合連合会 一般財団法人日本規格協会